

【進捗状況】

平成25年4月	大阪府市文化振興会議設置
平成25年5月	統括責任者公募
平成25年6月	統括責任者選考・決定
平成25年7月	アーツカウンシル部会委員選任、活動開始 (府市文化事業ヒアリング・現場視察、補助金審査)

【今後の予定】

平成25年11月頃	府市文化事業評価の中間まとめ
平成26年3月頃	今年度評価の全体のまとめ

○アーツカウンシル部会

佐藤 千晴	フリージャーナリスト	部会長【統括責任者】 (音楽)
佐野 光徳	株式会社クリスタル・アーツ代表取締役	(舞台芸術全般、複合)
山川 徳久	株式会社毎日放送事業局事業部マネージャー	(美術・デザイン)
山下 里加	京都造形芸術大学芸術学部 芸術表現・アートプロデュース学科准教授	(演劇、ダンス、複合)
山納 洋	大阪ガス株式会社近畿圏部 企画・開発チーム副課長	

※ () は主な専門分野。

※この他、補助金審査のために委員を選任、実地調査のために各専門分野のアーツマネージャー(調査員)を委嘱。

大阪アーツカウンシルについて

(参考資料)

概要

大阪の文化行政を推進する新たな仕組みとして、行政と一定の距離を置き、芸術文化の専門家等による評価、審査等を行う「アーツカウンシル」の仕組みを平成25年度に導入。

大阪府市の施策を統一的に推進し、パワーアップを図るため、府市共同により文化振興会議（審議会）を設置し、その部会としてアーツカウンシルを設置する。これにより、専門性・透明性・公正性を確保する。

大阪府市文化振興会議

府市の附属機関として、共同設置規約に基づき設置。文化振興計画の策定及び変更、文化施策に関する重要事項等に関することについて調査審議し、知事・市長に提言、答申等を行う。

アーツカウンシル部会

大阪府市文化振興会議の常設部会として設置。通称「大阪アーツカウンシル」
構成：部会長（通称「統括責任者」）をはじめ専門委員等により構成
機能：評価機能（府市文化事業の検証・評価及び改善提案、補助事業採択の審査
企画機能（新たな事業やパイロット事業などの企画、立案等）
調査（シンクタンク）機能（情報の収集、分析、提供）

文化振興会議との関係：

部会の審議状況・結果を文化振興会議に報告

文化振興会議に提案し、同会議で審議の上、知事・市長に提言

評価対象の府市事業

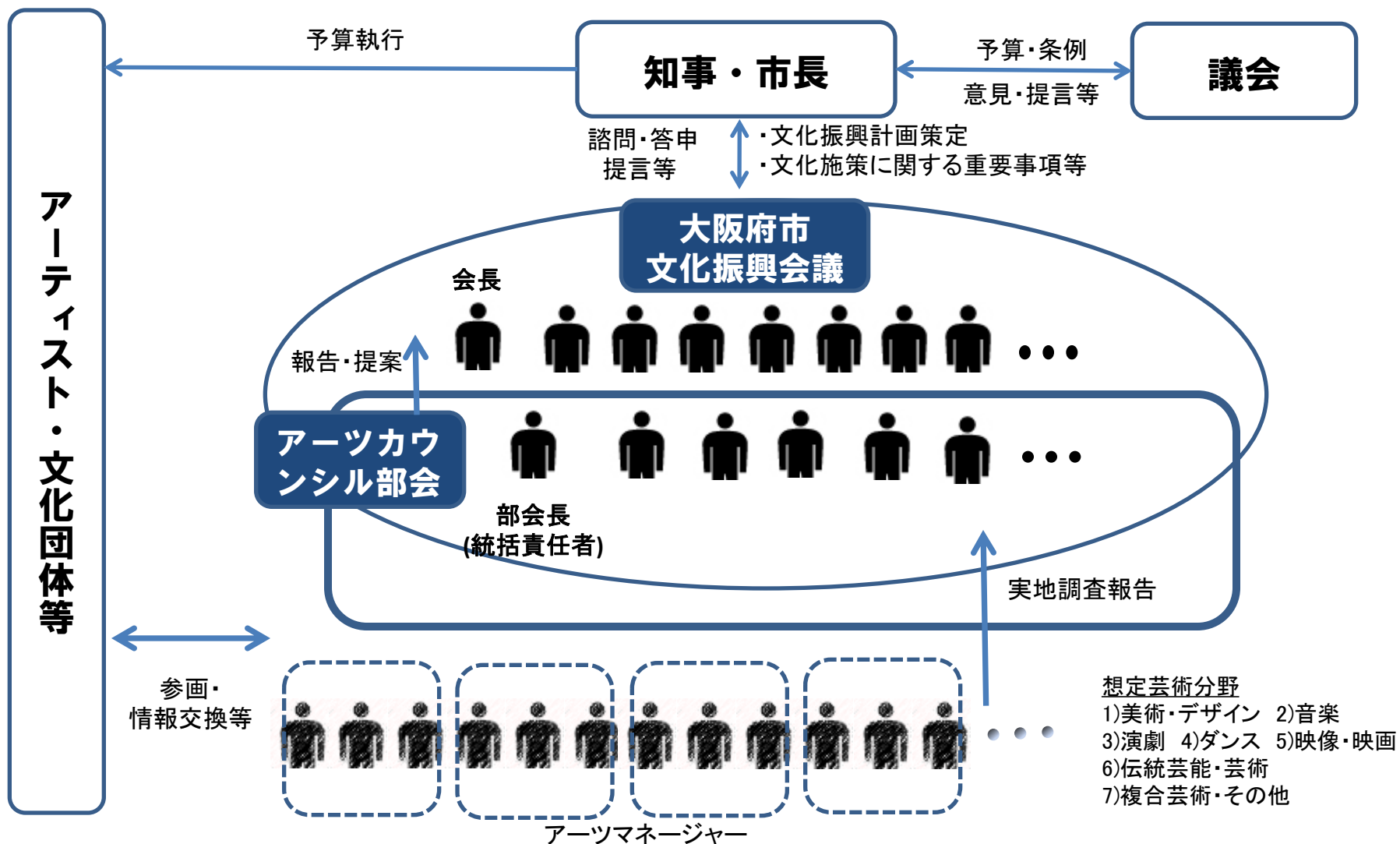
H25年度の評価対象事業（当初予算ベース）

府市の文化担当課で実施している文化施策 約6.4億円（うち助成金約1.5億円）

（内訳：大阪府18事業約2.4億円、大阪市28事業約4.0億円）

大阪アーツカウンシルの体制

(参考資料)



アーツカウンシルにおける文化事業の評価にあたって（基本的な方針）

- 平成25年度は、まず全体を俯瞰してめざすべき姿を見据え、文化事業の体系ごとに目標及び評価の視点を設定する。
- 府市の文化事業の現場を歩き、担当者や現場の声を聞きながら、より効果的な事業になるよう評価・提案を行う。
- 平成26年度予算への反映を考慮し、事業評価の中間とりまとめを行い、年度末までに全体のまとめを行う。

【アーツカウンシルがめざすもの】

文化はまちの磁力 人が集う、夢が育つ大阪

—大阪が本来持っている文化力を磨き、都市の力に—

文化をつくる

【目標】

- 優れた芸術(作品)の創造を促す
- 優れた芸術の蓄積を再発見する

【主な評価の視点】

- 優れた才能・蓄積の発掘ができたか
- 広く評価してもらう工夫をしたか
- 新たな試み（規制緩和等）に挑んだか
- アーティストを幅広くひきつけたか
- 地域的な広がりが生まれたか
- 適切なサポートができたか

都市をつくる

【目標】

- 文化の持つ潜在力を都市づくりに活かす
- 優れた文化を都市の魅力として発信する

【主な評価の視点】

- 広く情報発信ができたか
 - ・様々なメディアを活用したか
 - ・適切なタイミングで計画・実施できたか
- 集客数や利用者満足度はどうか
- 観光や経済など他分野と連携し広がりを生んだか

未来をつくる

【目標】

- 誰もが文化に触れ参加できる環境をつくる
- 文化を通じて人のつながりを育てる

【主な評価の視点】

- 幅広い層がアクセスできたか
- 豊かな文化資源や優れた芸術を提供できたか
- 発展性やネットワークの広がりはあるか
- 次世代育成につながっているか

【共通の評価の視点】

- 参加性
- 発展性
- 行政が関わる意義

A「文化創造の基盤づくり」

- ①大阪の街を使いこなす
- ②市民の思いを都市づくりに活かす
- ③市民の力で文化を育てる

B「都市魅力の向上」

- ④地域資源を活かした大阪の魅力向上
- ⑤大阪固有の文化の継承、新たな文化の創造
- ⑥エンターテインメントによる都市の活性化

C「人と地域のエンパワーメント」

- ⑦あらゆる施策に文化力を活用
- ⑧未来を担う次世代の育成
- ⑨文化振興への市民意識の醸成